

2019年11月29日

各 位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

バイオマス発電設備向けリース取り組みについて

三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：橘 正喜、以下「SMFL」）は、出光興産株式会社（代表取締役社長：木藤 俊一、以下「出光興産」）と同社が徳山事業所（所在地：山口県周南市）において事業化を進める大型バイオマス発電設備のリース契約を締結しました。

同事業は、出光興産の製油所跡地を活用するもので、発電の燃料に輸入木質ペレットとパームヤシ殻が使用されます。2022年度内の稼働を予定しており、発電出力は50MW、年間発電量として3億6,000万kWh（約10万世帯分の電力）の電力供給が可能となります。

SMFLは、同事業において出光興産向けにボイラー、タービン、マテハン設備などの発電設備一式をリースします。オペレーティングリース方式を採用する事で初期投資の軽減を図る事が出来ます。SMFLでは、これまで大型バイオマス発電事業向けに2件のプロジェクトファイナンスを実施しており、これらを通じて得られたバイオマス発電事業の事業性評価に関する知見やノウハウを活用する事で今般の取り組みが可能となりました。

これまでSMFLは、バイオマス発電以外でも太陽光、風力、地熱、小水力発電といった再生可能エネルギーの分野においてリースをはじめとする様々なファイナンスサービスを提供しています。また、本年4月に戦略子会社としてSMFLみらいパートナーズ株式会社（以下「SMFL MP」）を設立し、同社を通じて発電事業への参画も可能となりました。今後、SMFL MPと連携し、より多彩な金融ソリューションを提供する事で再生可能エネルギーの普及を積極的に支援してまいります。

以 上

【お問い合わせ先】 企画部 広報IR室 山本（TEL 03-5219-6334）